

高齢者の外出促進（実証実験の結果報告）について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者が人との交流や外出を控え、街の活気が失われることを課題と捉えた民間企業から提案を受け、令和4年11月から翌年2月にかけて、高齢者の外出を促進する実証実験を行いましたので報告いたします。

【実施結果】

1 事業名 「街の花咲かプロジェクト・ポイントラリー」

2 実施内容

(1) 概要

高齢者にビーコン（位置情報発信機）を配布し、専用アプリをダウンロードした参加者とすれ違うことや提携店等のポイントスポットに立ち寄ることでポイントを獲得してもらい、貯まったポイントは景品交換可能とすることで、高齢者の外出を促すとともに、街の賑わいの回復を目指した。

(2) 実施体制

- ・事業マネジメント／京王電鉄株式会社
- ・アプリ開発・ビーコンと技術ノウハウ提供／ジョージ・アンド・ショーン株式会社
- ・クラウド環境設計・データ分析／日本オラクル株式会社
- ・住民向け説明会の実施・ビーコン配布／多摩市高齢支援課

(3) 実施期間

令和4年11月1日～令和5年2月28日

(4) 参加者

140名（対象は、愛宕、東寺方3丁目、和田3丁目、乞田、永山1丁目、貝取1丁目、豊ヶ丘1丁目に住む65歳以上の高齢者）

(5) ポイントスポット及びポイント還元について

ポイントスポット：市内18か所

（聖蹟桜ヶ丘駅、永山駅、多摩センター駅周辺の商店等）

地域介護予防教室2か所

（介護予防リーダーが専用アプリをダウンロード）

景品交換協力店舗：市内7店舗（50ポイントで300円相当の商品に交換など）

3 実施結果

- ・参加者140名のうち、ポイントを貯めた人数は134名
 - ・ポイント交換を行った人数は22名（延べ74回）
- ⇒ポイントを貯めた人のうち、景品交換をした人の割合は16.4%

4 今後について

令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類に代わり、行動制限等も解除されていることから、外出促進の取り組みの必要性は昨年度に比べ薄れてきていると考えられる。今後は協力企業の動向等を踏まえ、市としてどのような形で協力できるか検討をしていく。